

事務事業マネジメントシート(令和 2年度実績と令和 3年度計画)

令和 3年12月22日更新

事務事業名		県土地改良事業連合会参画事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	6	産業の健康			所属部	産業振興部	課長名	右田 純司
	施策	26	農業の振興			所属課	農政課	担当者名	福岡 綾
	施策の柱	71	関係機関との連携の強化			所属班	農地整備班	(内線)	5226
予算科目	会計一般	款 6	項 1	目 12	事業連番 10302	根拠法令			
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 2年度で終了 <input type="checkbox"/> 2年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	・熊本県土地改良事業団体連合会に対する賦課金支払い並びに総会等への参加 【統合廃止の理由】 ※事業の内容が、負担金（県土地改良事業連合会へ毎年支払う一般賦課金）のみであるため、事務の簡素化を図るため、同様の項目がある「農道・用排水路等整備事業」へ予算を統合する。 【令和3年度～10271農道・用排水路等整備事業へ統合】
【業務の流れ】	・一般賦課金（毎年賦課金） ・特別賦課金（補助事業実施面積に応じて徴収）の支払い事務、総会（年1回）、その他会議・研修（年3～4回）
【主な予算費目】	・負担金
【意見や要望】	

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動)	2年度実績(2年度に行った主な活動)(DO)	3年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
・一般賦課金の支払い事務業務を行った、コロナ感染症対策により研修は開催されなかった		※令和3年度より「農道・用排水路等整備事業」に統合※
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回	予算の主な増減の理由
→ ア: 会議・研修回数		事業の統合廃止（農道・用排水路等整備事業に統合）による減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
農地整備担当者		→ ア: 農地整備担当者数
		(単位) 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
資質の向上		→ ア: 県検査等の指摘数
		(単位) 件
*③成果指標設定の理由と3年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
資質の向上の判定が難しく、県検査等の指摘数の減少が資質向上の成果につながると考えられる 目標値については過年度実績を参考に設定している		全体計画
		～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	30年度実績(決算)	31年度実績(決算)	2年度目標(当初予算)	2年度実績(決算)	3年度目標(当初予算)	4年度予定	5年度見込	6年度見込
① 活動指標	ア	回	2	1	3	0	0	0	0	0
	イ									
② 対象指標	ア	人	3	3	3	3	0	0	0	0
	イ									
③ 成果指標	ア	件	0	0	0	0	0	0	0	0
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	人件費	一般財源	千円	16	15	16	16			
		(A) 事業費計	千円	16	15	16	16	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	16	15	16	16	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	4	4	0	4	0	0	0
延べ業務時間	時間	80	80	0	80	0	0	0		
(B) 人件費計	千円	315	317	0	315	0	0	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	331	332	16	331	0	0	0		

事務事業名	県土地改良事業連合会参画事業	所属部	産業振興部	所属課	農政課
-------	----------------	-----	-------	-----	-----

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は2年度の事後評価、ただし複数年度事業は2年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 2年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 新型コロナウイルス感染症の影響により、会議等が開催されなかったため。
	② 3年度目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 土地改良連合会の事業実施回数による
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 対象、意図とも現状で適切である。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ※令和3年度より「農道・用排水路等整備事業」に統合する。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 賦課金等は、面積に応じて算出しているため、削減余地はない。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 負担金 (賦課金) のみの費用の為削減余地なし
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 負担金 (賦課金) のみの費用の為適性
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 行政運営に必要な事業であり役割分担は適正である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

今後も研修等に参加し連合会と協力し事業を遂行する。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p> <input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)  <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)  <input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)         </p> <p>令和3年度より「農道・用排水路等整備事業」に統合</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						